



2019年5月9日

各位

会社名 大阪油化工業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 堀田 哲平  
 (コード: 4124 東証JASDAQ)  
 問合せ先 取締役業務部長 島田 嘉人  
 (TEL. 072-861-5322)

### 2019年9月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2018年11月12日に公表いたしました2019年9月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正につきましてお知らせいたします。

記

#### 1. 2019年9月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正

##### (1) 2019年9月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異 (2018年10月1日~2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 522	百万円 51	百万円 51	百万円 34	円 銭 32.20
今回実績 (B)	472	19	19	13	12.40
増減額 (B - A)	△49	△32	△31	△21	—
増減率 (%)	△9.5	△62.3	△61.5	△61.7	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年9月期第2四半期)	490	84	77	54	52.87

##### (2) 2019年9月期通期業績予想の修正 (2018年10月1日~2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,259	百万円 205	百万円 205	百万円 141	円 銭 132.15
今回修正予想 (B)	1,130	105	105	71	66.97
増減額 (B - A)	△129	△100	△100	△70	—
増減率 (%)	△10.3	△48.9	△48.9	△49.6	—
(ご参考) 前期実績 (2018年9月期)	1,214	201	190	115	111.49

## 2. 差異及び修正の理由

### (1) 第2四半期累計期間

売上高においては、研究開発支援をはじめ、概ね計画通りに推移しましたが、当期の売上高予算構成における上位3案件の受注量が、米中貿易摩擦による顧客の在庫調整の影響により、計画よりも落ち込む結果となり、前回公表予想を下回りました。

利益面に関しても、売上高減少の影響が大きく、前回公表予想を下回りました。

### (2) 通期業績予想

売上高においては、米中貿易摩擦により当期の売上高予算構成における上位3案件の受注量が、当社の当初計画よりも大きく減少する見通しとなりました。当該3案件を除き概ね計画通りに推移する見込みであり、前期同様新規案件に関してもコンスタントに獲得できる見通しではありますが、当該3案件の影響が大きく、前回公表予想よりも下回る見込みとなりました。

利益面に関しましても、経費削減を織り込むものの、売上高減少分を補うことができず、前回公表予想よりも下回る見込みとなりました。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上